

[interview] 第27代厚生労働大臣ご就任

第27代厚生労働大臣ご就任のお祝いに、ご多忙の中、厚生労働省の大臣室に伺い、お話を聞かせて頂きました。

武見敬三先生は、教授、キャスター等を経て厚生労働副大臣もお務めになりました。世界保健機構親善大使として、インドネシアやフィリピンの保健大臣と面談、G7保健大臣会議等にも出席されるなど、グローバルにご活躍されており栄養士議員連盟の副会長として日頃よりご指導頂いています。

食に関しては、江戸時代の儒学者、貝原益軒の医食同源(食べるものと、薬になるものの源は同じ、ともに命を養い健康を保つためには欠くことができない)という考えが心に残る。栄養士、管理栄養士は栄養のバランスを考えておいしく食事を作ることが必須と思う。食物アレルギーをはじめ、いろいろな場面に対応できるスキルアップを図ってほしい。来年の診療報酬同時改定についても考えているところ、国民誰一人取り残さないという基本姿勢を守っていききたい。奥様に厚生労働大臣に就任したことを伝えると「お皿洗いは続けてね♡」との言葉が返ってきたそうです。微笑ましく先生がぐっと身近に感じられました。

短い時間でしたが、終始笑顔でお話され「食に関する場には栄養士、管理栄養士が必要、国民が65歳以上になった時に「日本に生まれて良かった」と思える国にしたい。そこには食もかかわっている。国民のために力いっぱい頑張りたい」と心強いお言葉を頂き、武見先生には後押しをして頂けると確信しました。

▶大臣就任のお祝いに伺いました。
井上会長・福永副会長・海老原常任幹事・
奥村東京都支部長



▲栄養士議員連盟副会長
参議院議員 武見敬三先生



INDEX

- インタビュー 1
- 2023年度上半期日本栄養士連盟活動報告 2
- 2024年度予算・税制等に関する要望について 3
- 会長挨拶、地区幹事、職域幹事からのメッセージ 4

ご就任の栄誉 おめでとうございます

第2次岸田第2次改造内閣が発足し、20名の閣僚のうち栄養士議員連盟加盟議員の先生が15名入閣。



▲高市早苗経済安全保障大臣



▲土屋品子復興大臣

栄養士議員連盟入閣の先生方

内閣役職	議員名	内閣役職	議員名
総理	岸田 文雄	官房、拉致問題	松野 博一
外務	上川 陽子	デジタル	河野 太郎
財務、金融	鈴木 俊一	復興	土屋 品子
厚生労働	武見 敬三	国家公安、防災	松村 祥史
農林水産	宮下 一郎	こども政策、少子化	加藤 鮎子
経済産業	西村 康稔	経済安全保障	高市 早苗
環境	伊藤 信太郎	地方創生、沖縄北方	自見 はなこ
防衛	木原 稔		

2023年度上半期の活動

2023年度活動計画は会員への更なる政治意識の啓発と陳情・要望活動の強化・組織強化を重点目標として、日本栄養士会とは情報の共有と要望事項の実現に向けた連携強化を図っています。

■日本栄養士連盟第48回通常総会

6月24日 於：新大阪ワシントンホテルプラザ
3年ぶりに集合で開催され、出席代議員は66名、委任状13名で議案について審議し承認されました。



▲総会審議中

ご来賓には経済安全保障大臣高市早苗先生、滋賀県衆議院議員上野賢一郎先生、京都府衆議院議員勝日康先生、日本栄養士会中村丁次会長のご臨席を賜りご挨拶を頂きました。



高市早苗 大臣

上野賢一郎 議員

勝日康 議員

▶栄養士議員連盟会長山東昭子先生をはじめ15名の先生方より祝電を頂戴いたしました。



■地区別支部長会議・栄養士会長会議合同会議

今年度は各地区幹事が主体となって運営、進行を行いました。Web会議は1か所、後6か所は集合会議で、情報交換会も同時に開催されました。「会員増対策」「会員管理システムの導入について」「各地区の課題、栄養士会との連携」について等活発な意見交換になりました。

■第3回幹事会(10月20日)Web会議

1.上半期活動報告 2.上半期収入支出 3.7地区別支部長会議・栄養士会長合同会議報告 4.職域幹事の活動実績報告及び要望とその提案報告等定例の報告とシンボルマークについて、名誉顧問、顧問について、選挙管理委員会についてなど協議しました。

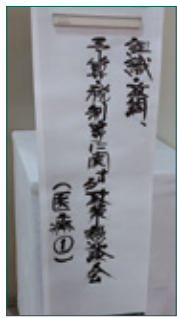
■日本栄養士会との連絡協議会

10月7日に第2回目を開催、7地区別支部長会議・栄養士会長合同会議について連盟から報告、課題点等話し合いました。栄養士議員連盟の武見厚生労働大臣をはじめ多くの連盟加盟議員の先生方が入閣されたことを踏まえ、栄養士連盟との連携を強化し活動を進めていくこと等、協議しました。

2024年度(令和6年度) 予算・税制等に関する要望について

10月30日(月)、自由民主党厚生部会主催の「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席しました。

日本栄養士連盟井上幸子会長は、(公社)日本栄養士会阿部絹子常務理事と共に、下記の重点要望事項を中心に要望を説明し、関連議員の先生方と意見交換を行いました。



◀会場案内看板(医療)▶



▲組織運動本部長 金子恭之先生挨拶

▼阿部常務理事の要望説明



▲厚生労働部会長 古賀篤先生に井上会長は直接の要望のお願い

重点要望事項

1. 「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化

- (1) 日本の栄養改善活動の成果“Japan Nutrition”(ジャパン・ニュートリション)を、世界に向けて発信・提案するための国際的にリーダーシップがとれる組織強化(厚生労働省栄養指導室の省令室化等)
- (2) 「健康日本21(第三次)」における食環境づくりへの予算拡充・推進体制の整備

2. こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、健やかな成長を社会全体で後押しするための「栄養政策」の展開

- (1) 「こどもの栄養政策」を担うための組織強化(こども家庭庁支援局における栄養士技官の配置)
- (2) 栄養教諭に期待される役割(職責)を遂行するための配置促進

3. 管理栄養士・栄養士の処遇改善

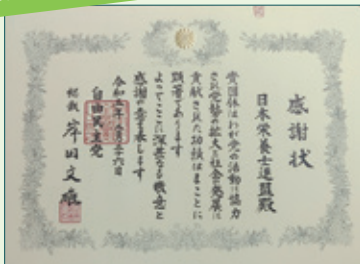
4. 物価・人件費等の高騰を鑑みた食事療養費及び基準費用額(食費)の見直し

5. 管理栄養士・栄養士の一層の活躍に向けた養成カリキュラム見直しの推進

近年の要望の成果

連盟ホームページを参照ください

連続5年の表彰!



日本栄養士連盟は友好団体として自由民主党から5年連続で表彰を受けました。日頃より都道府県の支部・幹事会の皆様の活動が評価されたことによるものです。

先生方の提言を拝見し、栄養教諭として鳥肌がたつほど感動いたしました。

長年の夢が叶いました！医療従事者になったことは連盟の活動をしてきたことが成果になりました。

2023

松野官房長官 及び 文部科学省、農林水産省に 骨太の方針への提言

学校における食育の更なる改善・充実に向けて (提言) 令和5年6月16日



経済財政運営と改革の基本方針2023 (骨太方針)

5. 経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進
(質の高い公教育の再生等) に
栄養教諭を中核とした食育を推進する。

令和5年6月16日
閣議決定

2023

管理栄養士・栄養士が 医療従事者になりました!

【厚生労働省】医療機能情報提供制度における医療従事者の人員配置の報告職種に管理栄養士・栄養士を追加

今回、厚生労働省において本制度の報告事項の見直しが行われ、「人員配置について報告することとされる、医療従事者の職種として厚生労働大臣が定めるもの」に、管理栄養士・栄養士が追加されることとなった。

これにより、今後は病院、診療所、歯科診療所及び助産所に勤務する管理栄養士・栄養士の人員配置が都道府県知事へ報告されるため、医療従事者としての管理栄養士・栄養士の就業実態がより正確に把握されることとなる。また、国民に対して病院等における管理栄養士・栄養士の人員配置について広く情報提供がなされることが期待される。

なお、本改正は、2023年5月1日(月)より適用される。詳細については、以下のリンクを確認してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/1080000/001096955.pdf>





こども家庭庁が施行し、こどもの栄養の人生最初の1000日、この時期の栄養が残りの人生に甚大な影響を与えることから「人生最初の1000日間」というイニシアティブが掲げられるようになりました。こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、健やかな成長を社会全体で後押しすることが必要です。

この「栄養政策」を実現するための政治の力は、行政の迅速な対応を促します。「現場の声」を届ける私たち組織の声こそが、政治を動かす原動力となります。日本栄養士連盟と(公社)日本栄養士会の連携はもとより、各都道府県におかれましても栄養士連盟と日本栄養士会が連携し、それぞれの地域で政治力を遺憾なく発揮することが重要になります。緊密に意思疎通を図り、栄養政策の実現のため、ともに力を合わせ進んでまいりましょう。

■ 連盟活動を振り返って、これからの期待すること

地区幹事

九州地区 吉浦 栄子

日本栄養士連盟は、何のための組織なのでしょう？ 私たち管理栄養士・栄養士はその資格をもって業務を行います。その資格を最大限活かすためには、国の制度、予算等の決め事があります。しかしながらその決め事は、国会議員の先生方、国の行政機関のご理解が必要です。ご理解をいただくためには栄養士会・栄養士連盟の会員数が影響します。管理栄養士が登録制から免許制に変わったのは、会員数が5万人を超えてから5年目でした。日本栄養士連盟は管理栄養士・栄養士の専門性がしっかり発揮できるように活動する組織であると思っています。

地区	氏名	所属支部
北海道・東北	齋川 成夫	青森県
関東・甲信越	渡邊 富雄	山梨県
京浜	高橋 正子	神奈川県
東海・北陸	富田 卓邦	愛知県
近畿	東森 佳子	滋賀県
中国・四国	永易 マルミ	愛媛県
九州	吉浦 栄子	佐賀県

職域幹事

医療 青木 哲美

長年、病院栄養士として勤務してきたものとして、今年、記念すべき年となりました。長い間の要望がようやく実を結び、管理栄養士・栄養士が医療従事者として認められました。

これを弾みに、患者数に対する管理栄養士の配置基準の見直しをはじめ、適切な診療報酬の加算が得られるよう活動してまいりたいと思います。また、栄養士の皆さんの活躍や、社会貢献されていることをもっと広く知って頂くように努力したいと思います。

職域	氏名	所属支部
医療	青木 哲美	福岡県
学校健康教育	大留 光子	東京都
勤労者支援	井上 公二	神奈川県
研究教育	津田 とみ	徳島県
公衆衛生	猿渡 秀美	熊本県
地域活動	海老原 昌子	千葉県
福祉	築館 寛子	青森県

佐藤財政部長からのお願い

日頃より会員増対策にご尽力いただきありがとうございます。連盟活動は法律や制度の改正を審議する国に対し陳情・要望等の要望書を提出する際は、会員数が多いことが大きな意味をもちます。今後とも多くの皆様のご理解ご賛同をいただきたく、よろしくお願い致します。



紫式部

入会案内・会費納入のお願い

あなたの入会をお待ちしています。
日本栄養士連盟年会費:2,000円

編集後記

集合での会議が開催できるようになりました。皆様の笑顔に会えると元気がでます。うれしいニュースもあり、今後の活動の励みになります。 (副会長 福永 恵子)